

ファン空冷サーマルセンサ (中出力・平均パワー&シングルショットエネルギー測定)

パワーレンジ: 50mW - 250W
エネルギーレンジ: 60mJ - 600J

- 汎用 高耐久
- ファン空冷
- 最大出力 250W
- 有効口径26mm - 35mm

F100A-PF-DIF-33



F150A-BB-26



FL250A-BB-35
FL250A-LP1-35



FL250A-LP1-DIF-33



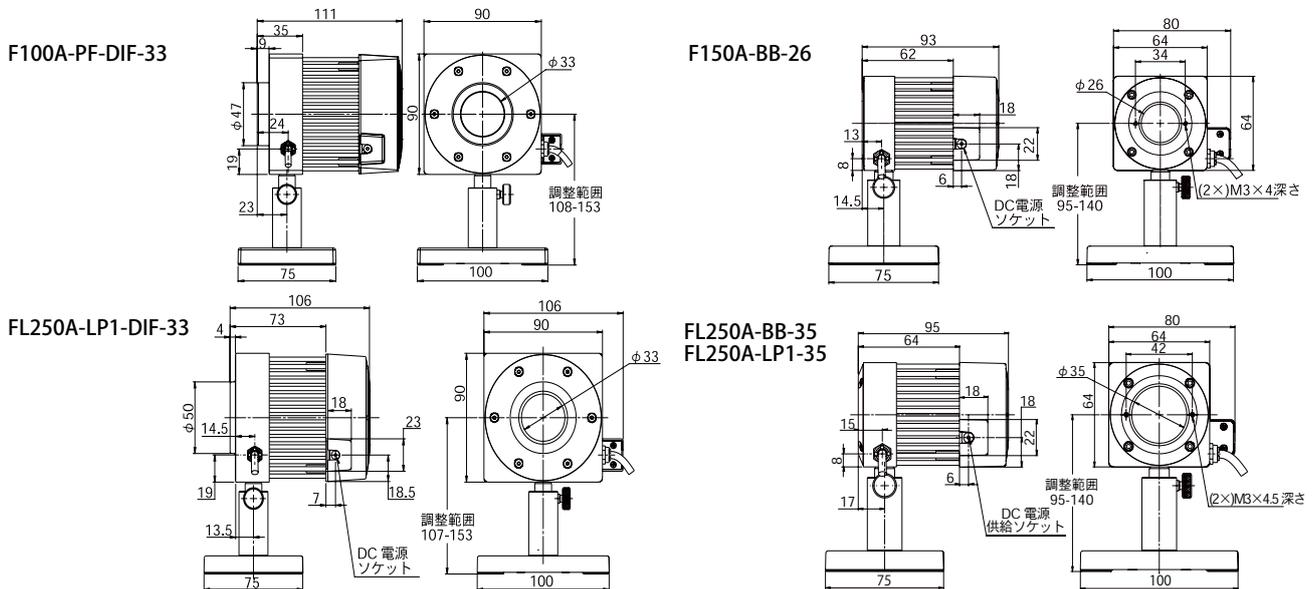
モデル	F100A-PF-DIF-33	F150A-BB-26	FL250A-BB-35	FL250A-LP1-35	FL250A-LP1-DIF-33
用途	短パルスレーザ	汎用レーザ	汎用レーザ	高出力密度 ロングパルスレーザ	ディフューザ付き 高出力密度
吸収体	PF型 + ディフューザ付	BB型	BB型	LP1型	LP1型 + ディフューザ付
測定波長範囲	0.24-2.2μm	0.19 - 20μm	0.19 - 20μm	0.25 - 2.2μm	0.4-3μm
有効口径	φ33mm	φ26mm	φ35mm	φ35mm	φ33mm
パワーレンジ (d)	50mW - 100W	50mW - 150W	150mW - 250W	150mW - 250W	400mW - 250W
パワースケール	3W / 30W / 100W	3W / 30W / 150W	30W / 250W	30W / 250W	30W / 250W
出力ノイズレベル (d)	6mW	3mW	15mW	15mW	20mW (e)
最大平均パワー密度	0.5kW/cm ²	12kW/cm ² @150W 17kW/cm ² @50W	10kW/cm ² @250W 12kW/cm ² @150W	27kW/cm ² @250W 39kW/cm ² @150W	2kW/cm ²
応答速度 (表示器併用、0-95%到達時間における代表値)	2.5 秒	1.5秒	2秒	2秒	2.5秒
校正精度 (校正波長と出力において)	±5%	±3%	±3%	±3% (c)	±3% (b)
出力直線性 (フルスケール10%以上)	±1.5%	±1%	±1%	±1%	±1.5%
エネルギーレンジ	60mJ - 200J	20mJ - 100J	50mJ - 300J	50mJ - 300J	400mJ - 600J
エネルギースケール	200J / 30J / 3J	300mJ / 3J / 30J / 100J	3J / 30J / 300J	3J / 30J / 300J	60J / 600J
最小トリガエネルギー (d)	60mJ	20mJ	50mJ	50mJ	400mJ
最大エネルギー密度					
<100ns	4J/cm ² (a)	0.3J/cm ²	0.3J/cm ²	0.05J/cm ²	0.5J/cm ²
0.5ms	15J/cm ² (a)	5J/cm ²	5J/cm ²	20J/cm ²	200J/cm ²
2ms	35J/cm ² (a)	10J/cm ²	10J/cm ²	50J/cm ²	400J/cm ²
10ms	50J/cm ² (a)	30J/cm ²	30J/cm ²	250J/cm ²	1000J/cm ²
冷却方式	ファン空冷	ファン空冷	ファン空冷	ファン空冷	ファン空冷
ファイバアダプタ	NA	SC, ST, FC, SMA	SC, ST, FC, SMA	SC, ST, FC, SMA	NA
重量	0.4kg	0.35kg	0.4kg	0.4kg	0.45kg
バージョン					
製品番号 (標準センサ)	7Z02744	7Z02727	7Z02728	7Z02731S	7Z02733
製品番号 (ビームトラックセンサ P34参照)		7Z07901			

【注釈】(a) 短波長域において最大エネルギー密度が右記の値(%)まで低下します。
1064nm (依存なし)
532nm (80%)
355nm (60%)
266nm (40%)
193nm (NA)

(b) 校正波長は755nm 1064nm/532nm になります。
(e) センサヘッド自体がレーザの熱で熱くなった場合300mWまでの大きなゼロオフセットが残っています。

(c) LP1センサヘッドの波長帯域は広く、吸収が変化するので、測定波長域全体の補正カーブを持っています。Nova、Orion、LaserStarディスプレイはこの機能をサポートしていないので、これらのディスプレイを使用する場合は、校正精度は±3%@532nm、808nm、1064nm、2100nmです。前述に該当しない波長で400-1100nmまでの波長においては校正精度±6%になります。

(d) 30W以下の低パワーを測定する場合は、ファンの電源を切るとノイズレベルが最大1/3まで低くなります。シングルショットエネルギー測定を行う場合もファンの電源を切ってください。



株式会社オフィールジャパン

www.ophiropt.com/jp

仕様は予告なく変更される場合がございます。ご不明点をご遠慮なくお問合せください。

フォトダイオードセンサ